



きよかわむら 社協だより

2017
4
No.188



新たな介護予防

サービスがスタート

～通所型サービス事業～

村社協では4月から、村より委託を受けて『通所型サービス事業』を開始します。この事業は、介護保険制度の『地域支援事業』の一環で、利用するためには地域包括支援センターのケアマネジャー等に介護予防プランを作成してもらう必要があります。

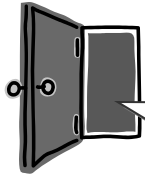
介護予防を目的とした健康体操、昼食前の口腔体操を初め、スカットボール等頭と体を使ったレクリエーション、趣味活動では、折り紙やパッチワーク等の手作業も利用者の希望に応じて実施していきます。どうぞお楽しみに！

なお、事業の詳細については、村社協または村地域包括支援センターまでお問い合わせください。

4月号 おもな内容

- | | | | |
|---------------|----|------------------|----|
| ●ボランティアの扉 | | ●オカリナの音色を満喫 | 3P |
| この春から始めてみませんか | 2P | ●平成28年度共同募金運動の報告 | 3P |
| ●広報部会の役割に幕 | 3P | ●社協からのお知らせ | 4P |

※みなさまの会費の一部は「社協だより」の発行に充てさせていただきます。



ボランティアの扉

この春から 始めませんか

内閣府が実施した「平成25年度市民の社会貢献に関する実態調査」では、ボランティア活動に対する関心について、回答者の過半数がボランティア活動に関心があると回答しています。一方、やってみたいけれど「活動に参加する時間がない」「十分な情報がない」という方等も大勢います。村内では現在、様々なボランティア活動が行われています。あなたもこの春から新たな一歩をスタートしませんか？

地域活動

自治会内など自分の身近な地域での活動です。清水ケ丘、柿ノ木平・坂尻、舟沢で行われているサロン活動は、住民ボランティアの創意工夫によって行われています。



気軽に集まれる場ができ、子供からお年寄りまで顔見知りになれ楽しく活動しています。サロンは地域の繋がりができるのが魅力ですね。

ボランティア活動

ご自分の興味・関心のある事を学び生かせる活動です。

- ・配食ボランティア
- ・災害ボランティア



災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座を受講してから、普段からの備えや災害時にとる行動など災害に対する意識が変わりました。

施設等での活動

活動するにあたり、介護の資格や知識は必要ありません。デイサービス利用者の笑顔と「有り難う」の温かい言葉が活動のエネルギーです。

- ・デイサービスでの作業補助



何か特別なことをするのではなく、自分も楽しめればと思って活動しています。

収集活動

「活動する時間がない」という方に最も適した活動です。

- ・ペットボトルキャップの収集
- ・古切手の収集



平成28年度(4月～1月)には、延べ112人(8団体)の方から協力があり、220人分のワクチンを発展途上国へ届けることができました。

清川村社協は、ボランティア活動を行いたい方を応援しています。ボランティア活動に興味・関心のある方は社協までお問い合わせください。

広報部会の役割に幕

～広報部会～

本会の広報紙『社協だより』は、事務局が編集した紙面を、住民の方で構成した『広報部会』で見えていただき、住民の視点からご意見をいただき発行してきましたが、平成28年度をもって広報部会を解消することとなりました。

今まで多くの住民の方々に参加していただいた広報部会では、読みやすく、分かりやすい広報紙を実現するために、「専門的な用語は住民にはわかりづらい」「写真があるところから記事に興味を持って記事を読んでもらえるのではないか」「住民にたくさんのお話を伝えたいのは分かるが、文章が多いと読む気をなくす」など、様々なご意見をいただきました。

平成29年度からは、今までいただいたご意見を糧に事務局のみで編集し発行します。より良い広報紙の発行を目指し、努力していきたいと思えます。

広報部会に関わり、福祉について様々なことを知る機会となり、知識として知っておくことが今後の生活に役立つと感じました。社協だよりが多くの方に読んでもらえることを期待しています。



平成28年度の広報部会のみなさん

オカリナの音色を満喫

～ふれあい昼食会～

3月2日、村保健福祉センターやまびこ館でふれあい昼食会が行われ、11人が参加しました。この日は、もみじ会によるおいしい食事をしていただいた後、厚木市で活動をされているボランティアアグループ「フレスケットの会(土屋勉代表)」をお招きし、オカリナの演奏を楽しみました。「皆さんの知っている曲は歌って下さい」と土屋さん。3曲目に演奏された石川さゆりさんの『津軽海峡冬景色』は多くの方がオカリナの演奏に合わせて歌を口ずさみました。参加者は「上手だね」「素敵な演奏だった」と喜んでいました。



平成 年度 共同募金運動の報告

～募金総額859,900円～

昨年10月から12月にかけて実施しました共同募金運動は、多くのみなさまのご協力をいただき、無事に終えることができました。募金の実績、使途は次のとおりです。

赤い羽根共同募金 442,550円

集まった募金は、県内の福祉施設等の施設整備や福祉車両購入資金等として、今年度に配分されます。また、全国でいつ発生するかかわらない災害に備え、一部を災害準備金として積み立てます。

年末たすけあい運動募金 417,350円

集まった募金は配分委員会を経て、昨年末に村内の一人暮らし高齢者や高齢者世帯、ひとりの親世帯、心身障害をお持ちの方へ配分しました。また、一部は今年度の社協事業の活動資金に充てさせていただきます。

赤い羽根共同募金

募金種類	金額
戸別募金	399,600円
学校募金	22,098円
職域募金	20,576円
その他	276円
合計	442,550円

年末たすけあい募金

募金種類	金額
戸別募金	412,350円
個人大口募金	5,000円
合計	417,350円

社協の行う福祉サービスに対する苦情窓口

清川村社協が提供する福祉サービスの利用者の権利を擁護し、事業の迅速な改善を図るとともに、事業に対する社会的な信頼を向上させることを目的に、苦情受付窓口を設けております。利用者の立場に配慮した対応を推進するため、利用者から直接苦情の受付、苦情解決の場への立会いや助言・解決策の調整を行う苦情解決第三者委員を選任しております。清川村社協の苦情受付窓口と併せて第三者による苦情受付窓口をご紹介します。

【社協の苦情受付窓口】

苦情解決責任者 小島 祐行

苦情解決担当者 大橋 真二

連絡先

〒243-0112 清川村煤ヶ谷2220-1

社会福祉法人清川村社会福祉協議会

電話 046-287-1118

FAX 046-287-2013

メール info@kiyokawa-shakyo.jp

受付時間 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）

午前8時30分～午後5時15分

【第三者が受付ける苦情窓口】

苦情解決第三者委員

第三者委員 原田 放子 氏

第三者委員 椎野 淳子 氏

連絡先

〒243-0035 厚木市愛甲1-7-6

特定非営利活動法人あつぎ福祉ネットワーク

電話 046-247-7503

FAX 046-247-7508

メール a-net@y2.dion.ne.jp

受付時間 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）

午前10時～午後5時

第21回 ふれあいフェスティバルのお知らせ

今年も厚木・愛甲地区の知的障がい者施設、作業所、手をつなぐ育成会等の関係者及び地域の方々が、イベントを通して交流を図り、親睦の輪を広げる『ふれあいフェスティバル』が開催されます。ぜひ、お気軽にお越し下さい。

開催日時 平成29年5月13日（土）

午前10時30分～午後2時

会場 神奈川総合リハビリテーション事業団内
スラローム場（予定）

内容 模擬店（おにぎり、コーヒー、ポップ
コーン、綿菓子、ゲームコーナー等）
その他アトラクション

お問い合わせ先

七沢学園（ふれあいフェスティバル実行委員会）

TEL 046-249-2305

回収にご協力ありがとうございます

平成29年2月～平成29年3月

○ペットボトルキャップ	21件
○古切手	8件
○使用済みプリペイドカード	2件



緑小学校の児童のみなさんからペットボトルキャップの寄付を頂きました。

編集・発行

社会福祉法人

清川村社会福祉協議会

〒243-0195

神奈川県愛甲郡清川村煤ヶ谷2220-1

清川村保健福祉センターひまわり館内

電話 046(287)1118

FAX 046(287)2013

はあと うおーむ

2ページでボランティア活動について紹介しました。主に福祉に関するものでしたが、他にも環境、国際、教育、観光など様々な分野でボランティアが活動しています。福祉だけではなく、自分にあった活動を見つけていくことが大切だと思います。